

「先行研究調査」教員指導案

- (1) 目標：・自分の研究対象に関する先行研究をリストアップさせる。
・入手した先行研究を検討させる。
- (2) 教材：①「生徒配布資料」（A4両面 各自1枚）
②「参考文献の書き方」（Teams上にアップロード）
③「参考文献入力フォーム」（Teams上にアップロード）
④（スライド資料）先行研究は何のためにするのか【補足資料として使用】
- (3) 持ち物：筆記用具、AKCファイル、テキスト、（タブレット）
- (4) 事前準備：スライドの準備、座席表（コース別名簿を持参）※座席は担当で指示をしてください。
- (5) 担当者・使用教室：

教室	2-1	2-2	2-3	2-4
コース	国際	家族・ジェンダー	地域・文化	経済
担当者	〇〇・〇〇	〇〇・〇〇	〇〇・〇〇	〇〇・〇〇

(6) 本時の指導計画

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	本時の目標・本時の予定の確認		<ul style="list-style-type: none"> ・「生徒配布資料」を配布する。 ・本時の目標の2点を読み上げて確認する。 ・先行研究のリストアップ、入手した先行研究の検討を行うことを確認する。 ・図書館が利用可能であることを伝える。 ・プロジェクターの準備を行う。
展開1 10分	先行研究のまとめ方の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・先行研究のまとめ方を理解する。 ・インターネットで出されている情報は玉石混交であることを強調して伝える。（個人ブログ、wikiなどの引用×学生の卒論×） 	<ul style="list-style-type: none"> ・先行研究や、記録の仕方について、スライドをもとに説明する。 ・先行研究調査は、論文の問いを立てる上で大切な過程であることを強調する。（ここをおろそかにすると、問いが抽象的になったり、立てられない、その結論も書けなくなる。そもそも根拠がないことになる。）
展開2 30分	先行研究のリストアップまたは先行研究の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・研究や論文とは何かについて理解する。 ・入力フォームは各自ダウンロードして使用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先行研究のリストアップ、または入手した先行研究の検討をさせる。 ・自分の論文のテーマ（問い）をどうするかを考えながら先行研究調査を行うことを意識させる。 ・生徒に適宜声をかけ、どのようなことを研究しようとしているのか、どのような文献を探しているのか話を聞く。
終結 5分	次回の連絡	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイルにプリントを綴じる。 ・次回は名古屋大学より大学院生が8名来校し、指導をしてくれます。事前に自分が研究をしていく上で疑問や聞きたいことを考えておきましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館やインターネットで必要な文献・資料を入手しておき、持参してくるよう伝える。（いつ図書館に行くのかなど各自で考えておく、必要な資料はプリントアウトをしてくる） →今回の先行研究調査、持参した文献・資料を踏まえて次回は「暫定的な問いを立てて、研究構想を練ること」を伝える。 ・先行研究が進んでいない場合は、12月4日までに各自で先行研究調査を進めるよう伝える。

令和●年度 探究 AKCⅡ α 参考文献の書き方

1 参考文献とは

論文やレポートでは、その中で参考にした文献、引用した文献を明示する必要があります。それらが明示されていない場合、論文・レポートとして不完全であると評価されてしまいます。この節では、この参考文献の書き方について解説します。なお、学問分野によっては、参考文献ではなく、「参照文献」や「引用文献」と呼ぶこともありますが、この文書では、「参考文献」という呼び方で統一します。また、この文書では、本文で参考文献の名前を挙げて言及することを「参照」と呼び、著作権法上の要件に基づく形で他の文献の内容を自分の著作に持ち込むことを「引用」と呼びます。この辺りも学問分野によって、言い方が異なることがありますので、注意して下さい。

2 参考文献を明示する理由

そもそも参考文献を明示しなければならないのはなぜなのでしょう。まず、論文でもレポートでも、私たちは、先人の研究、思考の上に乗って、それを記述しています。決して自分一人の考えだけで、論文・レポートを書いているわけではありません。参考にした先人の研究に敬意を表するためにも、それを明示しなければなりません。

また、読者への便宜をはかるという意味もあります。他者の論文やレポートを読む場合、そこから進めて、その論の根拠としている論文もさらに読み進めることがあります。そのためにも、参考文献を明示する必要があります。さらに、誰が見ても、その文献にアクセスできるような形で書く必要があります。例えば、書籍についてそのタイトルと著者名を書いただけだと、その書籍を特定できなかったり、特定に困難を生じさせたりする場合があります。そのためにも、出版社名や発行年なども含めた必要最低限の内容を含めなければなりません。

さらに、これまでの研究に対して、自分の議論がどのような立場にあるのか、はっきりさせるためということもあります。参考文献を明記することにより、自分の考えがどの議論をベースにしている、さらに、その議論と比べてどこが優れているのか、示すことができます。

3 参考文献の書き方

それでは、具体的にどのような形式で参考文献を記述すればいいのでしょうか。自然科学の分野では、参考文献の書き方として、科学技術振興機構（JST）が編纂した、科学技術情報流通技術基準（SIST）の「参照文献の書き方」（SIST 02:2007）という文書があります。人文科学、社会科学での論文においても、基本的な考えはこの文書と同様です。ただ、これらの分野の研究における論文では、アメリカ心理学会のスタイル（以下「APA スタイル」と呼びます。）や、アメリカ現代言語協会のスタイル（以下「MLA スタイル」）に従っていることが多いようです。ただし、学問分野ごとに「よく使われる参考文献の形式」というものが決まっています。自分の分野の先行研究における参考文献の書き方も十分に確認して下さい。ただ、一般的な考え方はどの学問分野でも同様ですので、以下の説明はどのような場合にも参考になると思います。

※令和●年度探究 AKCⅡ α では、APA スタイルを日本語に置き換えたものに依拠する方針です（以下参照）。

○ 1 冊の図書

1) 和文・単行本・単著

- 著者氏名 (出版年) 『書名』 出版社.

(例) 中島岳志 (2005) 『ナショナリズムと宗教：現代インドのヒンドゥー・ナショナリズム運動』 春風社.

2) 和文・単行本・編者 (複数)

- 第 1 編者氏名, 第 2 編者氏名編 (出版年) 『書名』 出版社.

(例) 生田真人, 松澤俊雄編 (2000) 『アジアの大都市 3 クアラルンプール, シンガポール』 日本評論社.

○ 論文集の中の論文

3) 和文・雑誌掲載の論文

- 著者氏名 (出版年) 「論文名」『雑誌名』 巻 (号), 論文の最初のページ論文の最後のページ.

(例) 玉田芳史 (1996) 「タイのナショナリズムと国民形成：戦前期ピブーン政権を手掛かりとして」『東南アジア研究』 34 (1), pp.127-150.

4) 和文・雑誌掲載の論文 ※必要に応じて、書名のあと、丸カッコ内にシリーズ名などを記す。

- 著者氏名 (出版年) 「題名」編者氏名編『書名』 (必要に応じてシリーズ名など) (pp.論文の最初のページ論文の最後のページ) 出版社.

(例) 内田隆三 (1996) 「知の社会学のために：フーコーの方法を準拠にして」井上俊ほか編『知の社会学／言語の社会学』 (岩波講座現代社会学 5) (pp.35-66) 岩波書店.

○ 和文ウェブサイト

※マイクロソフト社製 Word の場合、URL のハイパーリンクを削除してください。見やすさを考慮して、URL の直前で改行を入れてもかまいません。

- 著者氏名 (もしくはサイトの管理運営組織名) 記事執筆年 (もしくはデータの公開年) 「ページ名」『サイト名』 年月日アクセス.URL

(例) 外務省 (2015) 「国・地域：タイ王国、基礎データ」『外務省ホームページ』 2015 年 10 月 7 日アクセス<<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/thailand/data.htm>>

○ 日本語の新聞の記事

※マイクロソフト社製 Word の場合、電子版では URL のハイパーリンクを削除してください。見やすさを考慮して、URL の直前で改行を入れてもかまいません。

- 記者名 (発行年月日) 「記事名」『紙名』 pp.記事の最初のページ記事の最後のページ.
- 記者名 (発行年月日) 「記事名」『紙名』 アクセス年月日<URL>

(例 1) 著者名不明 (2010 年 4 月 18 日) 「文化変調：政策貧困細る博物館」『朝日新聞』 pp.1-2.

(例 2) 安倍順一 (2010 年 4 月 16 日) 「政権交代で、消えゆく ETC」『読売新聞』 2010 年 4 月 19 日アクセス<<http://www.yomiuri.co.jp/column/politics/20100416-OYT8T00850.htm>>

◇英文の資料を使用する場合は以下を参照

○ 1 冊の図書

1) 欧文・単行本・単著

- 著者ラスト・ネーム, 著者ファースト・ネーム. (出版年). 書名. 出版地: 出版社.

(例) Anderson, B. (1998). *The spectre of comparison: Nationalism, Southeast Asia, and the world*. London and New York: Verso.

2) 欧文・単行本・共著 (複数) ※and は& としません。第 2 著者以降の氏名は倒置しません。

- 第 1 著者ラスト・ネーム, 第 1 著者ファースト・ネーム and 第 2 著者ファースト・ネーム ラスト・ネーム. (出版年). 書名. 出版地: 出版社.
- 第 1 著者ラスト・ネーム, 第 1 著者ファースト・ネーム, 第 2 著者ファースト・ネーム ラスト・ネーム and 第 3 著者ファースト・ネームラスト・ネーム. (出版年). 書名. 出版地: 出版社.

(例) Hollan, D.W. and J.C. Wellenkamp. (1994). *Contentment and suffering: Culture and experience in Toraja*. New York: Columbia University Press.

3) 欧文・単行本・編者 (単数)

- 編者ラスト・ネーム, 編者ファースト・ネーム, (Ed.) (出版年). 書名. 出版地: 出版社.

(例) Harris, I. (Ed.) (1999). *Buddhism and politics in twentieth-century Asia*. London and New York: Pinter.

4) 欧文・単行本・編者 (複数)

- 第 1 編者ラスト・ネーム, 第 1 編者ファースト・ネーム and 第 2 編者ファースト・ネームラスト・ネーム, (Eds.) (出版年). 書名. 出版地: 出版社.

(例) Gommans, J. and J. Leider (Eds.) 2002. *The maritime frontier of Burma: Exploring political, cultural and commercial interaction in the Indian Ocean world, 1200-1800*. Leiden: KITLV Press.

○ 論文集の中の論文

5) 欧文・雑誌掲載の論文 ※雑誌名だけでなく、巻もイタリックにします。

- 著者ラスト・ネーム, 著者ファースト・ネーム. (出版年). 論文名. 雑誌名, 巻 (号), 論文の最初のページ-論文の最後のページ.

(例) Jory, P. (2000). Books and the nation: The making of Thailand's national library. *Journal of the Southeast Asian Studies*, 31(2), 351-373.

6) 欧文・単行本 (論文集・予稿集など) 掲載の論文 ※編者の氏名は倒置しません。

- 著者ラスト・ネーム, 著者ファースト・ネーム. 出版年. 論文名. In 編者名 (Ed.), 書名 (pp. 論文の最初のページ-論文の最後のページ). 出版地: 出版社.

(例) Bronson, B. (1999). Patterns in the early Southeast Asian metals trade. In I. Glover, P. Suchitta and J. Villers (Eds.), *Early metallurgy, trade and urban centres in Thailand and Southeast Asia* (pp. 63-114). Bangkok: White Lotus.

○欧文ウェブサイト

マイクロソフト社製 Word の場合、URL のハイパーリンクを削除してください。見やすさを考慮して、URL の直前で改行を入れてもかまいません。

- 著者ラスト・ネーム, 著者ファースト・ネーム (もしくはサイトの管理運営組織名)) .(記事執筆年 (もしくはデータの公開年)) . ページ名. サイト名. Retrieved on Month Date, Year, from URL

(例) National Institute of Statistics of Cambodia. (2014). Agriculture Census 2013. National Institute of Statistics. Retrieved on October 7, 2015, from http://www.nis.gov.kh/index.php/en/nis_event/2_ac2013_released.html

○英字新聞の記事

マイクロソフト社製 Word の場合、URL のハイパーリンクを削除してください。見やすさを考慮して、URL の直前で改行を入れてもかまいません。

- 記者名. (発行年月日) . 記事名. 紙名, 記事の最初のページ-記事の最後のページ.
- 記者名. (発行年月日) . 記事名. 紙名, Retrieved on Month Date, Year, from URL

(例) Cowell, A., et al. (2010, April 19). Authorities criticized over handling of air crisis. *The New York Times*. Retrieved on April 20, 2010, from <http://www.nytimes.com/2010/04/20/world/europe/20ash.html?hp>

引用資料

- ・ 京都大学「参考文献の書き方」 2023 年 12 月 6 日アクセス
<https://www.bun.kyoto-u.ac.jp/2009gakusei-sien/researchinfo/paper_writing/ohura/references.pdf>
- ・ 立命館アジア太平洋大学「日本語論文執筆要領」 2023 年 12 月 6 日アクセス
<https://www.apu.ac.jp/rcaps/uploads/fckeditor/Notes_for_Contributors_J.pdf>

参考文献リスト

1	論文		入力日
	この資料の主張のまとめ		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか
2	論文		入力日
	この資料の主張のまとめ		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか
3	論文		入力日
	この資料の主張のまとめ		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか
4	論文		入力日
	この資料の主張のまとめ		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか
5	論文		入力日
	この資料の主張のまとめ		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか

参考文献リスト

1	書籍		入力日
	この資料の主張のまとめ		
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
			自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか
2	書籍		入力日
	この資料の主張のまとめ		
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
			自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか
3	書籍		入力日
	この資料の主張のまとめ		
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
			自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか
4	書籍		入力日
	この資料の主張のまとめ		
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
			自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか
5	書籍		入力日
	この資料の主張のまとめ		
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
			自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか

参考文献リスト

1	ウェブサイト		入力日
	この資料の主張のまとめ		
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
			自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか
2	ウェブサイト		入力日
	この資料の主張のまとめ		
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
			自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか
3	ウェブサイト		入力日
	この資料の主張のまとめ		
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
			自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか
4	ウェブサイト		入力日
	この資料の主張のまとめ		
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
			自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか
5	ウェブサイト		入力日
	この資料の主張のまとめ		
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
			自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか

参考文献リスト

1	新聞・雑誌記事		入力日
	この資料の主張のまとめ		
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
			自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか
2	新聞・雑誌記事		入力日
	この資料の主張のまとめ		
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
			自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか
3	新聞・雑誌記事		入力日
	この資料の主張のまとめ		
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
			自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか
4	新聞・雑誌記事		入力日
	この資料の主張のまとめ		
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
			自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか
5	新聞・雑誌記事		入力日
	この資料の主張のまとめ		
	参考になりそうな部分の ページ数や抜き出し		どこに収蔵されているか、もしくはURLなど
			自分の論文に引用する予定か、もしくは引用したか